

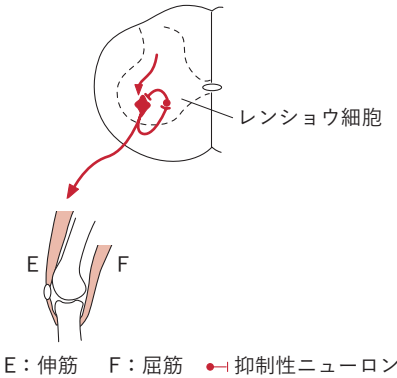
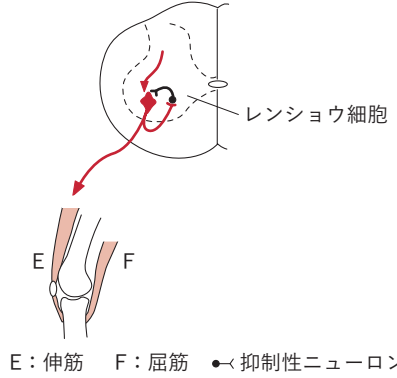
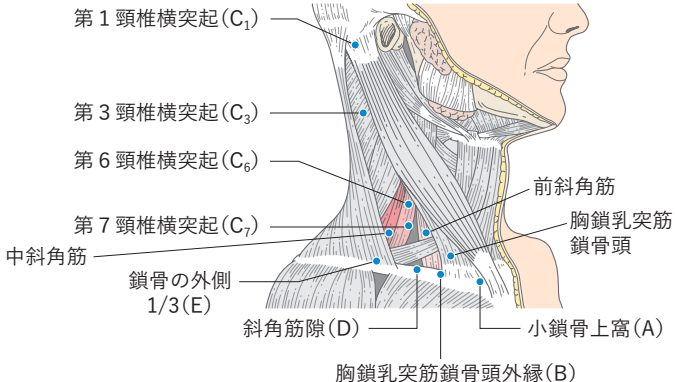
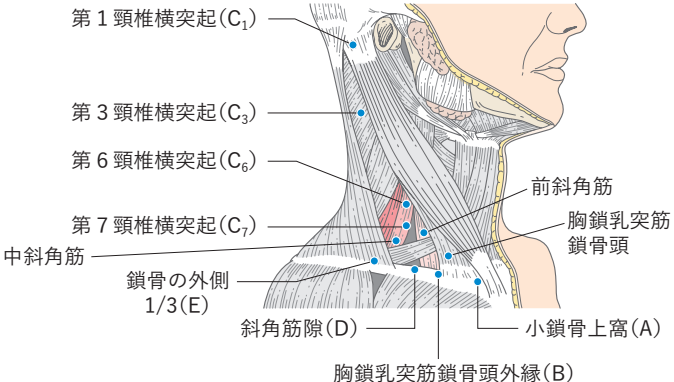
## 『図解鍼灸療法技術ガイドⅠ 第2版』

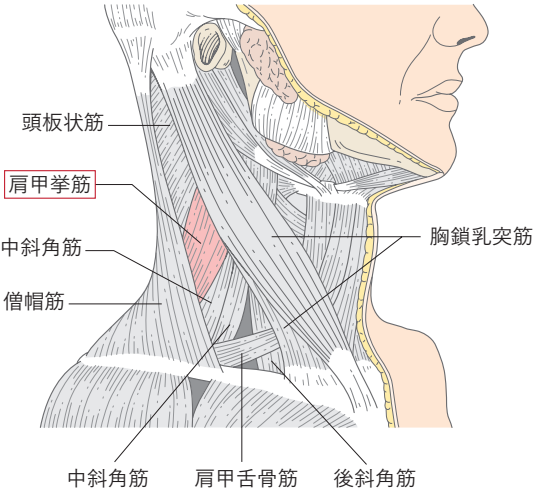
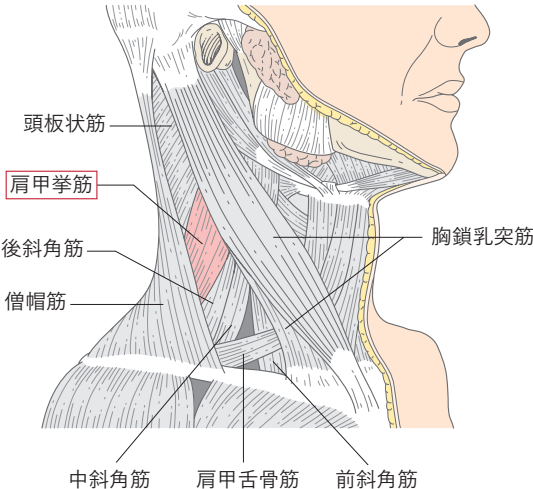
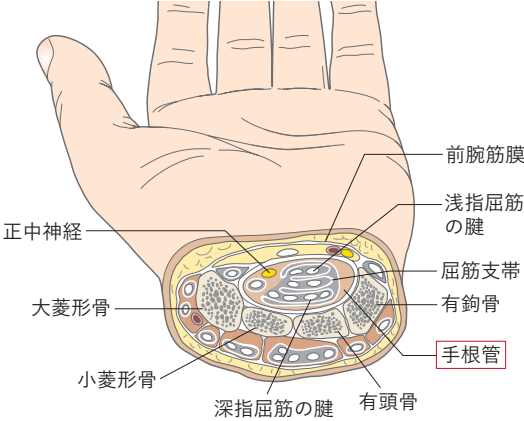
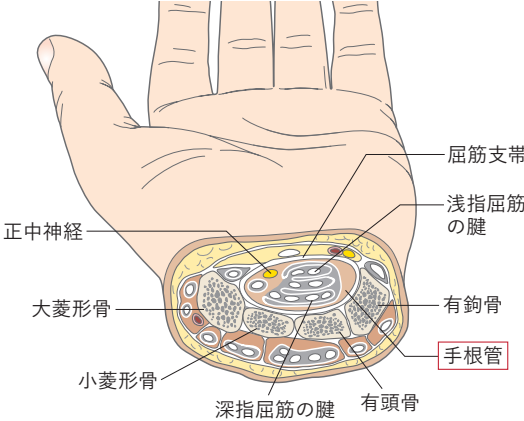
## 正 誤 表

本書におきまして、下記の通り記載内容に誤りがございました。訂正してお詫びいたします。

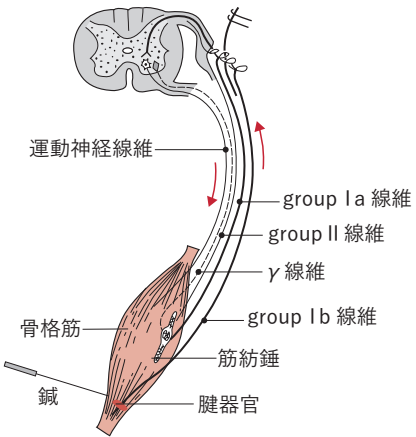
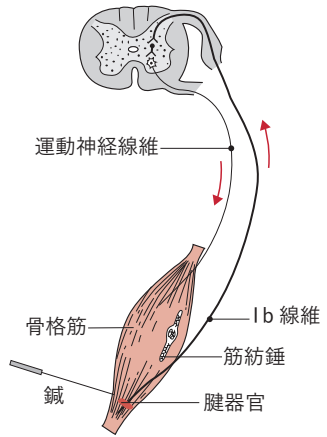
(2024 年 5 月 20 日作成, 2025 年 9 月 26 日更新)

刷	頁	該当箇所	誤	正	更新日
1 刷	xix	右段 17 行目	3) 更年期障害	3. 更年期障害	2024/5/20
1 刷	66	左段 1 行目	……輻射熱や伝道熱を体表に……	……輻射熱や伝導熱を体表に……	2024/5/21
1 刷	67	右段 11 行目	……厚さにより加減する。灸総数	……厚さにより加減する。灸壮数	2024/5/21
1 刷	68	図 6 図説	a: カマヤミニ. b: a の構造. c: 長生灸. d: せんねん灸オフ. (写真提供 a: (株) 釜屋もぐさ. c: (株) 山正. d: セネファ (株))	a: カマヤミニ. b: a の構造. c: せんねん灸オフ. d: 長生灸. (写真提供 a: (株) 釜屋もぐさ. c: セネファ (株). d: (株) 山正)	2024/5/20
1 刷	104	右段 11 行目	2) 施術はリズムカルに、単時間に	2) 施術はリズムカルに、短時間に	2025/1/28
1 刷	198	エッセンス	2. 表皮細胞は、コルチゾール、オキシトシン、ドパミン、ノルアドレナリン・アドレナリン、副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)、 $\beta$ -エンドルフィン、グルタミン酸、アデノシン三リン酸 (ATP)、サブスタンス P、一酸化窒素 (NO) などの多くの物質を産生し、分泌する。	2. 表皮細胞は、コルチゾール、オキシトシン、ドパミン、ノルアドレナリン・アドレナリン、 $\beta$ -エンドルフィン、グルタミン酸、アデノシン三リン酸 (ATP)、サブスタンス P、一酸化窒素 (NO) などの多くの物質を産生し、分泌する。	2025/9/26
1 刷	203	左段下から 2 行目	図 4 に示すように、コルチゾール、オキシトシン、ドパミン、ノルアドレナリン・アドレナリン、副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)、 $\beta$ -エンドルフィン、グルタミン酸、ATP、サブスタンス P、一酸化窒素 (NO) などである <sup>1, 2)</sup> 。	図 4 に示すように、コルチゾール、オキシトシン、ドパミン、ノルアドレナリン・アドレナリン、 $\beta$ -エンドルフィン、グルタミン酸、ATP、サブスタンス P、一酸化窒素 (NO) などである <sup>1, 2)</sup> 。	2025/9/26
1 刷	242	右段 7 行目	6. 振戦法	6. 振顫法	2025/9/26
1 刷	248	図 4	<p>E: 伸筋 F: 屈筋 ●- 抑制性ニューロン</p>	<p>E: 伸筋 F: 屈筋 ●- 抑制性ニューロン</p>	2024/5/20

刷	頁	該当箇所	誤	正	更新日
1 刷	248	図 5	 <p>E: 伸筋 F: 屈筋 ●-  抑制性ニューロン</p>	 <p>E: 伸筋 F: 屈筋 ●-  抑制性ニューロン</p>	2024/5/20
1 刷	300	左段 10 行目	なお, 第 2 頸神経は第 2 頸椎の下から, 第 3 頸神経は第 3 頸椎の下から, 第 4 頸神経は第 4 頸椎の下から出る (図 1).	なお, 第 2 頸神経は第 1 頸椎の下から, 第 3 頸神経は第 2 頸椎の下から, 第 4 頸神経は第 3 頸椎の下から出る (図 1).	2025/9/26
1 刷	314	図 2 上	 <p>第 1 頸椎横突起 (C<sub>1</sub>) 第 3 頸椎横突起 (C<sub>3</sub>) 第 6 頸椎横突起 (C<sub>6</sub>) 第 7 頸椎横突起 (C<sub>7</sub>) 前斜角筋 中斜角筋 鎖骨の外側 1/3 (E) 斜角筋隙 (D) 小鎖骨上窩 (A) 胸鎖乳突筋鎖骨頭 胸鎖乳突筋鎖骨頭外縁 (B)</p>	 <p>第 1 頸椎横突起 (C<sub>1</sub>) 第 3 頸椎横突起 (C<sub>3</sub>) 第 6 頸椎横突起 (C<sub>6</sub>) 第 7 頸椎横突起 (C<sub>7</sub>) 前斜角筋 中斜角筋 鎖骨の外側 1/3 (E) 斜角筋隙 (D) 小鎖骨上窩 (A) 胸鎖乳突筋鎖骨頭 胸鎖乳突筋鎖骨頭外縁 (B)</p>	2024/5/20

刷	頁	該当箇所	誤	正	更新日
1 刷	322	図 1			2024/5/20
1 刷	333	右段 3 行目	橈骨神経の刺鍼部位は，上腕部では上腕骨外側上顆より 10 mm 頭側やや外方の圧痛点，	橈骨神経の刺鍼部位は，上腕部では上腕骨外側上顆から 10 cm 頭側やや外方の圧痛点，	2025/9/26
1 刷	343	図 1			2025/9/26
1 刷	343	右段 文献	1) 越智淳三訳：分冊解剖学アトラス I 運動器. 文光堂，東京， <u>122-123, 1996</u>	1) 阪本桂造監訳：ボディ・ナビゲーション～触ってわかる身体解剖～. 医道の日本社，神奈川，133, 2005	2025/9/26
1 刷	393	右段 図 1 図説	腰背部に位置する三角形の大きな筋肉である。図は，左後面を示す。	腰背部に位置する三角形の大きな筋肉である。図は， <b>左</b> 後面を示す。	2024/5/20

刷	頁	該当箇所	誤	正	更新日
1 刷	613	図 6	<p>(左手) (右手)</p> <p>寸口 関上 尺中 心 肝 腎 脾 肺 腎</p>	<p>(左手) (右手)</p> <p>寸口 関上 尺中 心 肝 腎 肺 脾 腎</p>	2024/5/23
1 刷	671	図 3	<p>求心性神経路(後根) (感覚ニューロン)</p> <p>感覚受容器 (膝蓋腱のゴルジ腱器官が 伸展されて反応する)</p> <p>脊髄神経節</p> <p>遠心性神経路(前根) (運動ニューロン)</p> <p>筋紡錘</p> <p>効果器 (大腿四頭筋)</p>	<p>la 群求心性線維</p> <p>ハンマーで腱を叩打して筋に伸張刺激を与えて筋紡錘を興奮させる</p> <p>脊髄神経節</p> <p>α 運動ニューロン</p> <p>筋紡錘</p>	2024/5/20
1 刷	823	図 2	<p>梨状筋</p> <p>坐骨神経</p>	<p>梨状筋</p> <p>坐骨神経</p> <p>総腓骨神経</p> <p>脛骨神経</p>	2024/5/20

刷	頁	該当箇所	誤	正	更新日
1 刷	896	図 2			2025/9/26